

近隣公共ホール等を利用する市内団体に対して使用料の一部を助成します

市では、青梅市民会館の閉館による代替施設として、市内および西多摩地域に所在する公共ホール等を使用して公演等を行う市内の団体に対し、使用料の一部を助成します

助成対象 市内在住・在勤・在学者が構成員の過半数を満たす団体

※市から他の補助等を受けている団体を除く

助成対象施設

- ▽霞共益会館（青梅市野上町2-21-5）
- ▽福生市民会館（福生市福生2455）
- ▽羽村市生涯学習センター

ゆとろぎ（羽村市緑ヶ丘1-11-5）

▽秋川キララホール（あきる野市秋川1-16-1）

▽瑞穂ビューパークスカイホール（西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2475）

助成条件 公演等（演劇、演芸または音楽の公演、映画の上映、見せ物等で営利を目的としないもの）の実施のため公共ホール等を使用する場合

助成回数 年1回

助成額 公共ホール等の使用料（会議室、音楽室等のほか、備品等の付属設備にかかる使用料等を除く）から従前の青梅市民会館ホールを使用した場合の使用料に換算した額を差し引いた額（上限7万円）

※1千円未満切り捨て

※連続する2日間の使用料まで

例 公共ホール等の使用料5万円―市民会館ホールの使用料に換算した額3万円

交付申請 助成対象施設を使用する年度内にあらかじめ施設使用承認書等の必要書類をお持ちのうえ、社会教育課（市役所3階）へ

問い合わせ 社会教育課

青梅市新生涯学習施設（仮称）市民説明会

市では、青梅市新生涯学習施設（仮称）の建設を進めています。このたび、実施設計がまとまりましたので、施設の概要について説明会を開催します。

日時 3月24日（土）午前10時～正午

会場 市役所2階 201～203 会議室

直接会場へ問い合わせ 社会教育課生涯学習施設建設担当



この土蔵は、明治時代に造られた3階建の建物で、平成22年度～24年度に修理を行いました。また、明治時代に発生した火事により、下屋の柱に残った火事の痕跡を現在も見ることが出来ます。今回、旧稲葉家住宅の

都指定有形民俗文化財 旧稲葉家住宅土蔵特別公開

母屋とあわせて、土蔵の中にも雛人形を展示していますので、ぜひご覧ください。

公開日時 3月17日（土）、18日（日）、21日（祝）、24日（土）、25日（日） 午前10時～午後4時

会場 旧稲葉家住宅土蔵（森下町49-4）

その他 一階のみの公開です。履物を脱いでお上がりください。

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

わがまち青梅講座 霞丘陵でお花見

花見を楽しむとともに市文化財保護指導員の案内のもと、郷土・青梅に関する知識を深めてみましょう。

行程 4月7日（土） 午前9時30分今井市民センター集合↓浮島神社↓愛宕山↓塩船観音寺（昼食）↓吹上しよ

定員 40人（抽選）

費用無料

申し込み 3月27日（必着）までに往復ハガキに（往信裏 住所、氏名、年齢、電話番号（返信表 住所、氏名を記入し、〒198-0053 青梅市駒木町1-684 青梅市郷土博物館「わがまち青梅講座」へ）

※同伴者は1枚につき1人まで可（同伴者名も必ずご記入ください）

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859



青梅市の文化遺産15 武蔵御嶽神社 宝庫

武蔵御嶽神社は、国宝の赤糸威鎧と、重要文化財の紫裾濃鎧を所蔵しています。

この二点の鎧は、八代将軍吉宗と十代将軍家治の時に江戸城への上覧が記録され、松平定信が刊行した古宝物図録集である「集古十種」にも記録されるなど、古くから広く知られていました。

明治30（1897）年に文化財保護制度の原型となる古社寺保存法が制定され、日本各地の社寺に保存されている文化財が調査されると、この二点の鎧を含むさまざまな宝物が旧国宝の指定を受けました。

しかし、各社寺に保存されていた宝物は傷みが激しく、岡倉天心らが明治31（1898）年に創設した日本美術院によ

中央図書館・9分館 臨時休館等のお知らせ

中央図書館・9分館では、システムの入替えのため、次のとおり全館休館となります。また、図書館ホームページとブックポストも利用できません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

臨時休館期間

3月22日（木）～31日（土）

※3月19日（月）は中央図書館を開館し、20日（火）は中央図書館・分館全館を開館します。

※3月8日～21日に資料を借りる場合、貸出期間を延長します。

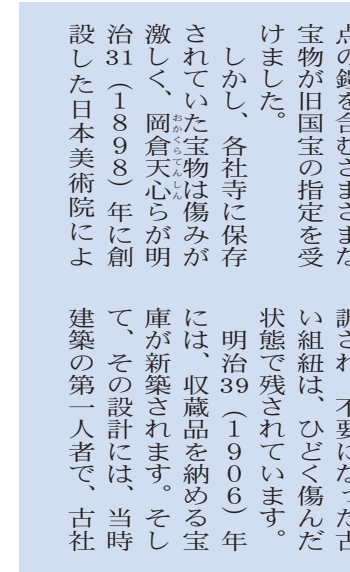
ブックポストが利用できない期間

3月22日（木）～29日（木）

図書館ホームページ停止期間

3月21日（祝） 午後8時～4月1日（日） 午前9時

問い合わせ 社会教育課図書館担当



り、さまざまな国宝の修理が行われています。

武蔵御嶽神社で所蔵している二点の鎧は数百年の間、日の出祭に使用する以外、本殿内に大切に保管されていたと思われ、ほぼ完品で残っていました。この本殿は雨期には湿度が高くなり、保存に適した場所ではありませんでした。

そのため、明治36（1903）年6月～11月にかけて、関保之助・松原佐久監修のもと修復され、現在に至っています。修復の際、組紐などは新調され、不要になった古い組紐は、ひどく傷んだ状態で残されています。

明治39（1906）年には、収蔵品を納める宝庫が新築されます。そして、その設計には、当時建築の第一人者で、古社

市民センター

3月の休館日は19日（月）です。

長洲市民センター

☎22-3249

調布ことぶき大学

日時 3月28日（水） 午後1時30分～対象市内在住の60歳以上▽内容 講演会「笑いとふれあいパートⅢ」▽講師 市シルバーマイスター 若林博司氏▽入場無料▽直接会場へ

東青梅市民センター

☎24-8110

親子で楽しくファミリーゲーム体験会

日時 3月31日（土） 午後1時30分～午後4時※ 時間内はいつでも参加可▽ 対象 乳児～小学生※未就学児は保護者同伴▽内容 IIドイツや日本のアナログゲームを親子・子どもたちで楽しみながら、子どもたちがさまざまな能力を育む▽講師

日曜納税窓口

日時 3月25日（日） 午前9時～午後4時

問い合わせ 収納課収納管理係

寺の保存を多く手がけた関野真があたりました。間口11・12m、奥行5・66m、木造二階建の単純な建物ですが、側面や底部全体がトタンで覆われ、高さ20×30cmの礎石に建物全体が乗っています。この構造がよいにもかかわらず、空調などがなく、収納品が湿気などから守られ、装束や紙類を保管するには最適な場所となっています。

昭和51（1976）年に宝庫が新設され、その役割を終えましたが、現在では神社備品の収蔵庫として重宝されています。

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

師におもちゃコンサルトントマスター 稲葉恭子氏▽費用無料▽その他ゲームができない乳幼児の遊び場も用意しています▽直接会場へ

中央図書館

☎22-6543

中央図書館にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

おはなし会「絵本の森」

日時 4月6日（金） 午前10時30分～11時10分▽会場 おはなしの部屋▽対象 2～4歳児と保護者▽内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居等▽定員 15組▽費用無料▽協力 図書館ボランティア「おはなしの会ころりん」▽直接会場へ